

小論文試験は、幅広い知見によって支えられた分析力と論理的思考力、思考の過程および結果を的確に表現する論述力、正義と権利に敏感で、社会・経済に対する強い関心を持ち、そこで生じている問題を発見し、これを適切に処理することができる基本的能力を受験者が有しているかを判定する目的の下で実施される。

本小論文試験は、「移動の自由」に関する問題文を素材とするものである。設問1は、問題文中に挙げられている3つの「移動」概念の内容を、設問2および設問3は、筆者のいう「積極的移動」の保障の要否について、問題文中で分析されている論者および筆者の見解を、的確に説明することを求めている。解答にあたっては、各概念や各見解の相違点が分かりやすく整理されていることが望まれる。設問4は、「積極的移動」の保障の要否について、受験者の見解を論じるよう求めるものである。設問4については、上の設問に対する解答を踏まえつつ論じることを求めており、問題文の筆者や、問題文中で分析されている論者の主張のどの点をどのように評価するのかが分かりやすくかつ説得的に示されている解答には高い評価が与えられ得る一方、問題文や上の設問との関連性を全く意識しない解答には、高い評価は与えられない。

なお、本小論文試験は、上記の能力を評価の対象とするものであって、法律学にかかる特別な知識の有無や法律の条文を解釈する能力それ自体を評価の対象とするものではない。